

給食に思いを込めて——

ちょうりじょうゆうびん

2月の予定献立表

—おらほの食材—

米・こまつな・キャベツ・ねぎ・人参・生椎茸・
高菜漬け・青畑豆・大豆・打ち豆・味噌・納豆など

日	曜日	料理名
3	月	節分献立：ごはん、いわしの蒲焼き、のりマヨサラダ、ほうれん草のみそ汁、お魚ふりかけ
4	火	鮎貝小口エスト献立：わかめごはん、ハンバーグデミグラスソースかけ、中華春雨サラダ、コーン入り野菜スープ、お米のタルト
5	水	やまこめもちりパン、ペンネのナポリタン、ビーンズサラダ、米粉の豆乳シチュー
6	木	ごはん、蒸し棒餃子、五目きんぴら、小松菜のみそ汁、白鷹産大豆の納豆
7	金	ごはん、カツオカツ、紅花入り浅漬け、カレースープ
10	月	ごはん、五目野菜の肉団子、白菜と厚揚げのうま煮、キャベツのみそ汁
12	水	食パン、鶏肉のチーズパン粉焼き、キャベツとほうれん草のごまサラダ、ウイナースープ
13	木	荒砥小パイキング給食：ごはん、鶏と根菜の平つくね、マカロニサラダ、豆腐のみそ汁
14	金	町のお菓子屋さん：ごはん、厚焼き玉子、厚揚げと筍のみそ煮、白菜と打ち豆のみそ汁、シルクパイ
17	月	肉そぼろどんぶり、青菜とツナの辛し和え、なめこのみぞれ汁、(中学のみ)アセロラゼリー
18	火	ごはん、さばの割烹漬、炒めピーマン、呉汁

寒さが厳しい日が続いています。2月は町内産の野菜もぐっと少なくなる時期です。そんな時には乾物や漬物などの保存食が役に立ちます。今月の給食には切干大根や打ち豆、大豆、青畑豆、高菜漬けなど様々な保存食を取り入れました。今では1年中新鮮な食べ物が手に入りますが、食料の確保が難しかった時代に先人たちによって考え出された保存食を、子どもたちにも味わって欲しいと思います。

そのほかにも、7日には白鷹町が生産量日本一を誇る紅花の乱花を使用した浅漬け、14日には「町のお菓子屋さん」のシルクパイを提供する予定です。

2月も毎日、安心・安全な給食を子どもたちの元へお届けします。

日	曜日	料理名
19	水	やまこめもちりパン、大豆とごぼうのメンチカツ、ほうれん草のミモザ風ソテー、ミネストローネ、(中学のみ)スライスチーズ
20	木	ポークカレー、ウイナー、キャベツのサラダ
21	金	郷土料理の献立：ごはん、鶏肉のレモン漬、高菜煮、もずくスープ
25	火	ごはん、いかの揚げ煮、春雨のごま炒め、もやしの味噌スープ
26	水	食パン、オムレツケチャップソースかけ、コールスローサラダ、スキムミルク入りコーンスープ
27	木	雪若丸給食：肉どんぶり、カミカミサラダ、大根と打ち豆のみそ汁
28	金	麺の日：五目うどん、ショウロンボウ、ツナとほうれん草のごまサラダ

※この他、毎日牛乳が1本付きます。

※材料の都合により、献立を変更する場合があります。

町報川柳 — 福 —

福という尊い命ありがとう	十王 阿部 恵莉
福はウチーいずれ一緒に鬼退治	十王 阿部 貴文
仕事終え至福の時のコップ酒	十王 守谷 勝助
秋晴で仕事はかどり幸福に	荒砥乙 木口 とよ
雪解けの日向に一輪福寿草	坂戸市 安達 功
福顔でむかしなつかし涙もの	十王 松田 久一
廃屋の庭の跡地に福寿草	菖蒲 小関 弘
幸福は人と人との和で集う	佐野原 竹田 正子
福を呼ぶ巳年に期待膨らみます	高玉 橋本つね子
しあわせを乗せてニコニコ乳母車	高岡 安部 健一
老いの病福祉に頼り長生きす	十王 松野いせ子
春一番待ったなしの福寿草	高玉 高橋 朝子
福の神我が家を避けて通り過ぎ	山口 石川與次衛門
禍と福は交互に来るってホントかな	十王 五十峯 隆
人と会い話し笑えば福宿る	浅立 梅津美千子
孫子らが耳明けの声福を呼ぶ	箕和田 土屋 平敏
新年に望むことこそ家族愛	箕和田 土屋 敏子
波静か七福神の宝船	荒砥乙 保科 努
幸福は各自で創るも一考か	横浜市 小形 聡明
添い遂げた二人どちらも福の神	鮎貝 植木 英夫
幸せをツカミたいが福イナイ?	畔藤 安達 次男
無人の里だ雪に負けるな春はもう近いぞ	山口 渡部喜美子

次回「酒」二月二十五日まで／「心」三月二十五日まで（※作品には、ふりがなを振ってください）

白鷹町大字荒砥甲八三三番地 白鷹町役場企画政策課情報係 宛

協力隊として初めての企画展を開催します！

先

日、白鷹町営スキー場で昔の遊び道具である「ズリ」という下駄の底面に竹を張ったものと「竹スキー」で遊びました。遊び道具なら運動音痴の私でも大丈夫だろうと思っていたのですが、立つのがやつの状態でなかなか優雅に滑ることはできませんでした。またリベンジしたいと思います。

さて、3月7日（金）から16日（日）の金・土・日曜日に歴史民俗資料館あゆみしるで「オッドリーフ〜奇妙な葉っぱ〜」という企画展を開催します。

町内で活動している銅メッキアクセサリー作家の



梅津真智さんが、植物や昆虫などに銅メッキを施し、それらをアクセサリーに加工した作品を展示します。素材となる植物や昆虫の型をとって作成するのではなく、素材そのものに銅メッキを施すため金属の質感を持ちながらもしなやかさを感じられます。特に昆虫の作品は動き出しそうなほど生命力を感じ、見た人は心をくすぐられるかもしれません。初めての企画展を開催するのでとても緊張しますが、皆さんぜひお越しください。

企画展「Odd Leaf ~奇妙な葉っぱ」を開催

エレクトロフォーミングという銅メッキを用いて作家活動をされている梅津真智さん（畔藤）の作品を紹介します。枯れてしまった植物や昆虫、素朴な天然石に銅メッキを施すことで「本来の形を残しつつも、銅の温かい輝きで生まれ変わった姿を見せたい」と梅津さんは語ります。東北では珍しいエレクトロフォーミングの技術を間近でご覧ください。



銅メッキの葉っぱ

期 間：3月7日（金）～3月16日（日）

観覧料：一般 200 円、中学生以下無料、団体（10 人以上）100 円

共 催：あゆみしる・白鷹町地域おこし協力隊 工藤

◆エレクトロフォーミング体験◆

葉っぱなど素材を選んでもらい、銅メッキをかける前の工程を体験します（後日メッキを施して作品をお渡しします。詳細はお電話にて）。

日 時：3月8・15日（土） 10：00～12：00

参加費：2,000 円 / 定 員：各日 3 名

予 約：あゆみしるまたは協力隊工藤（☎ 080-1658-9112）まで
3月2日（日）まで受け付けます。

あゆみしる
白鷹町歴史民俗資料館

物 話 つむぐ みんなで

白鷹町大字十王
2558 番地 1

☎ 88-7160

開館日：金・土・日
時 間：9時～17時